

「小倉駅新幹線口地区整備構想」(平成 27 年 8 月改訂)

(4) 歩行者ネットワークの形成

1) JR小倉駅からアクティブゾーンまで、空間特性を活かした2つの主動線の設定

【やすらぎルート】

(JR小倉駅から あさの汐風公園 — 西日本総合展示場南側 を経由)
身近な自然に「やすらぎ」を感じることのできるルート



あさの汐風公園



西日本総合展示場南側



- 歩行者動線 (地上1Fレベル)
- 歩行者動線 (地上2Fレベル)
- 主動線
- 賑わい等空間活用エリア
- 集客施設

「にぎわいルート」

(JR小倉駅から AIM(ペDESTロリアンデッキ — 2Fガレリア) を経由)
ドキドキワクワクした「にぎわい」を感じることのできるルート



ペDESTロリアンデッキ



AIM 2階ガレリア

▲歩行者ネットワーク (主動線)

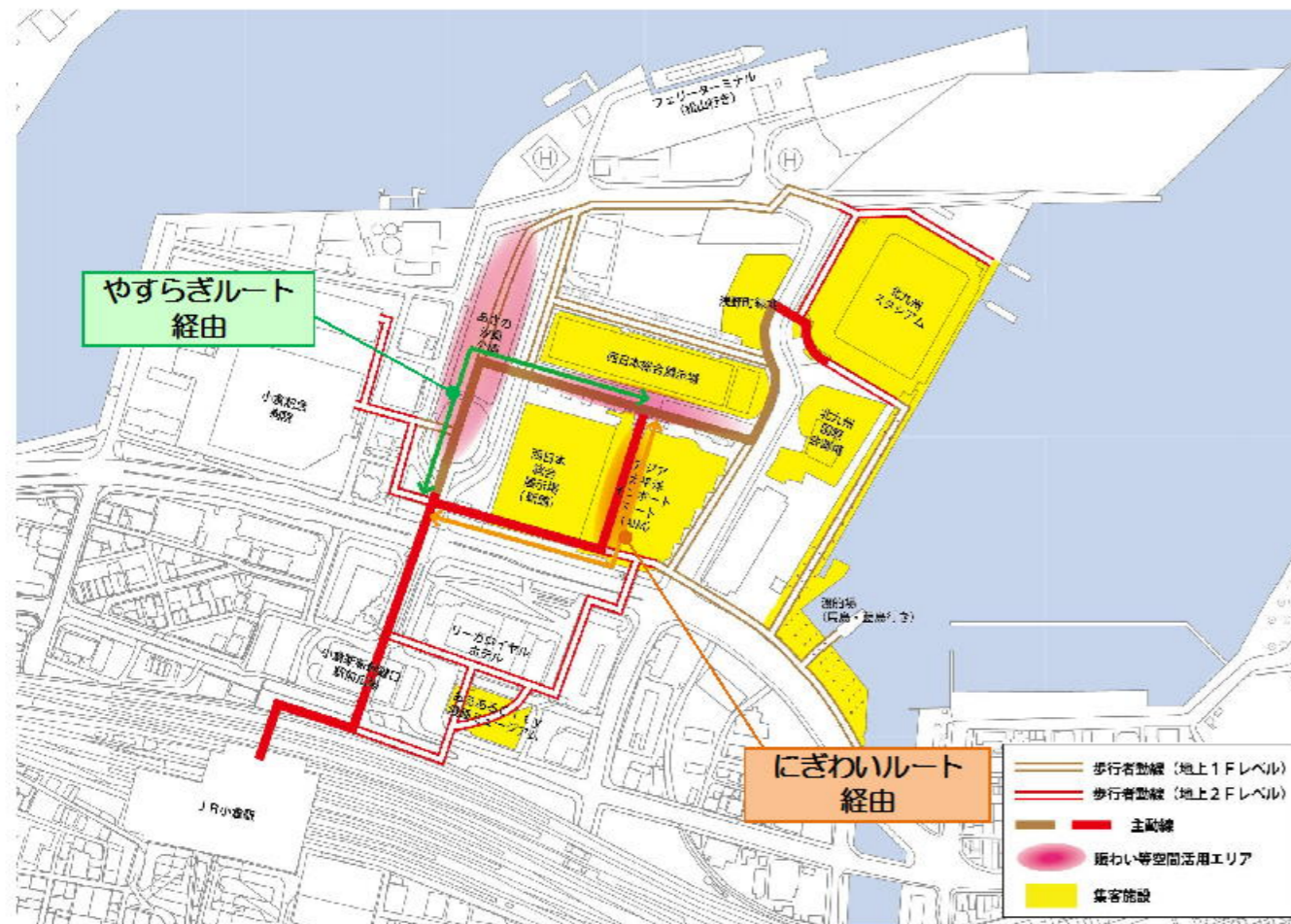
「小倉駅新幹線口地区整備構想」(平成 27 年 8 月改訂)

2) 主動線を活用した歩行者誘導対策

北九州スタジアムでのイベント・試合開催時には、多くの来場者(北九州スタジアム:最大15,000人以上収容可能)が見込まれるため、「にぎわいルート」と「やすらぎルート」の二つの主動線を基本とした歩行者誘導と併せて、集中による混雑を防ぐための歩行者誘導対策を実施する。

① イベント・試合開始前の歩行者誘導

開始前の歩行者の流れは、時間的及び面的にも分散するものと想定されることから、主動線である「にぎわいルート」及び「やすらぎルート」への誘導を図る。



▲開始前における歩行者の動線

② イベント・試合終了後の歩行者誘導

終了後の歩行者の流れは、試合終了直後の集中による錯綜を回避するため、主動線に「海岸ルート」を加えた3つのルートへ分散誘導する。

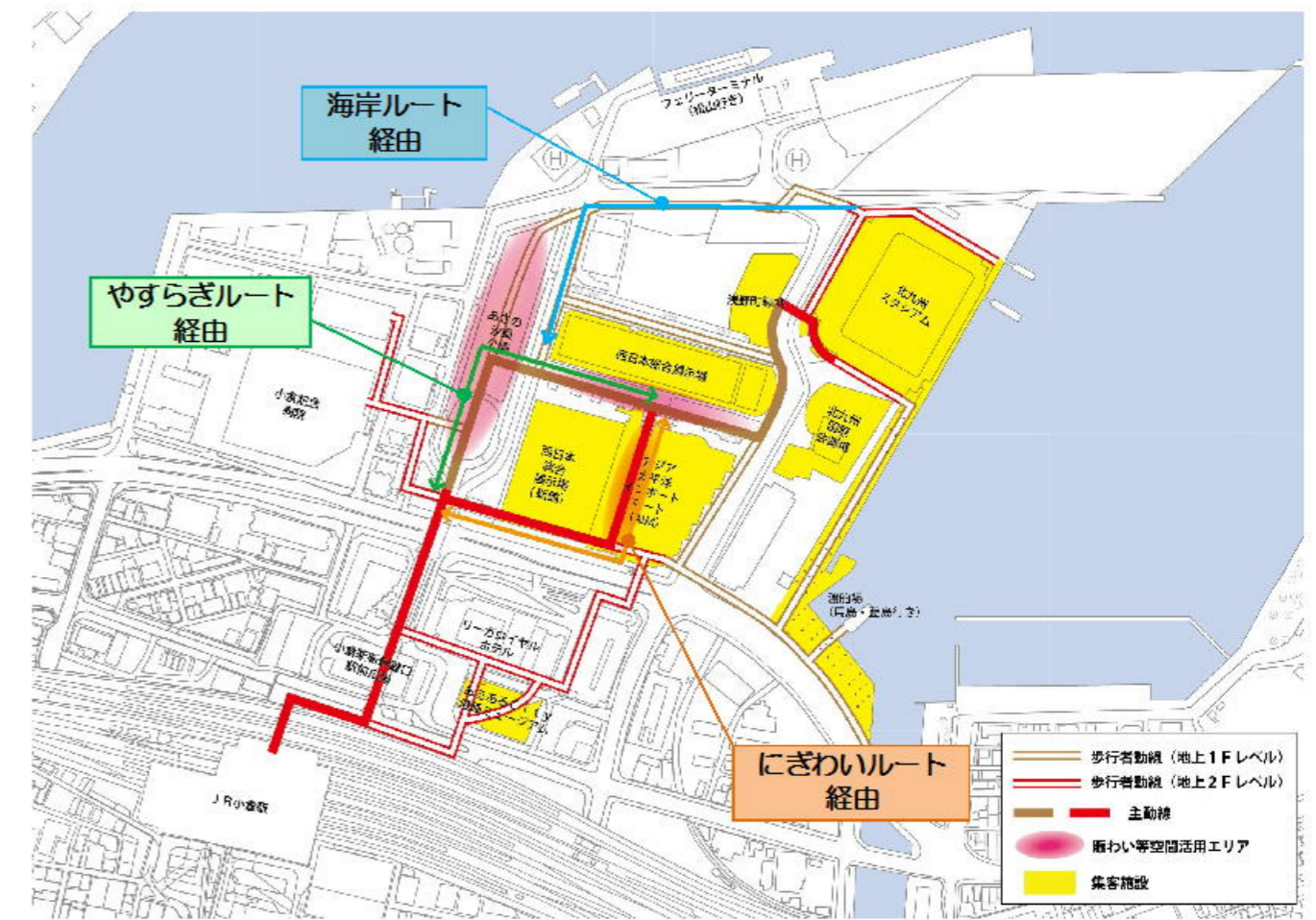
◇ 北側スタンド利用者

→ 「海岸ルート」へ誘導

◇ 南・西・東側スタンド利用者

→ 浅野町緑地 を経由したのち、

「にぎわいルート」及び「やすらぎルート」へ誘導



▲終了後における歩行者の動線

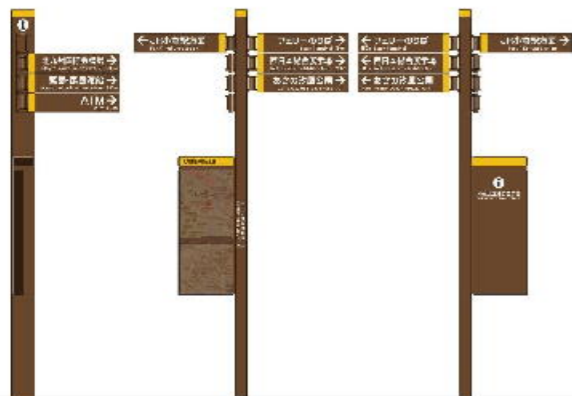
「小倉駅新幹線口地区整備構想」(平成 27 年 8 月改訂)

3)歩行者系サインによる誘導

【新幹線口地区における歩行者系誘導サインの方針】

- ① 既存の歩行者系サインを活用し、掲載内容を更新する。
- ② 回遊性を高め、目的地へ安全に誘導するため、主な分岐点に歩行者系サインを増設する。
- ③ 駅から目的地までの確に誘導するため、統一性、連続性の確保に向けた取組みを進める。
- ④ 主要案内表示の多言語化（日本語、英語、中国語、韓国語）に取り組む。

② 歩行者系サインの増設



④ 案内表示の多言語化

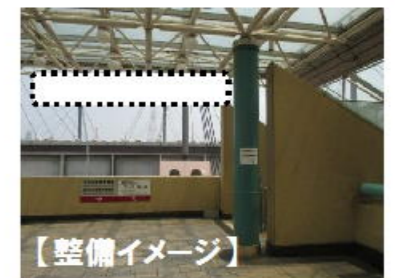


- 凡例
- : 既設サイン
 - : 新設サイン

- 歩行者動線 (地上1Fレベル)
- 歩行者動線 (地上2Fレベル)
- 主動線
- 賑わい等空間活用エリア
- 集客施設

<ペDESTロリアンデッキ>

- ② 歩行者系サインの増設
- ③ デザインの検討



<エスカレーター下>

- ① 掲載内容の更新
- ② デザインの検討



<ペDESTロリアンデッキ>

- ② 歩行者系サインの増設
- ③ デザインの検討



① 掲載内容の更新

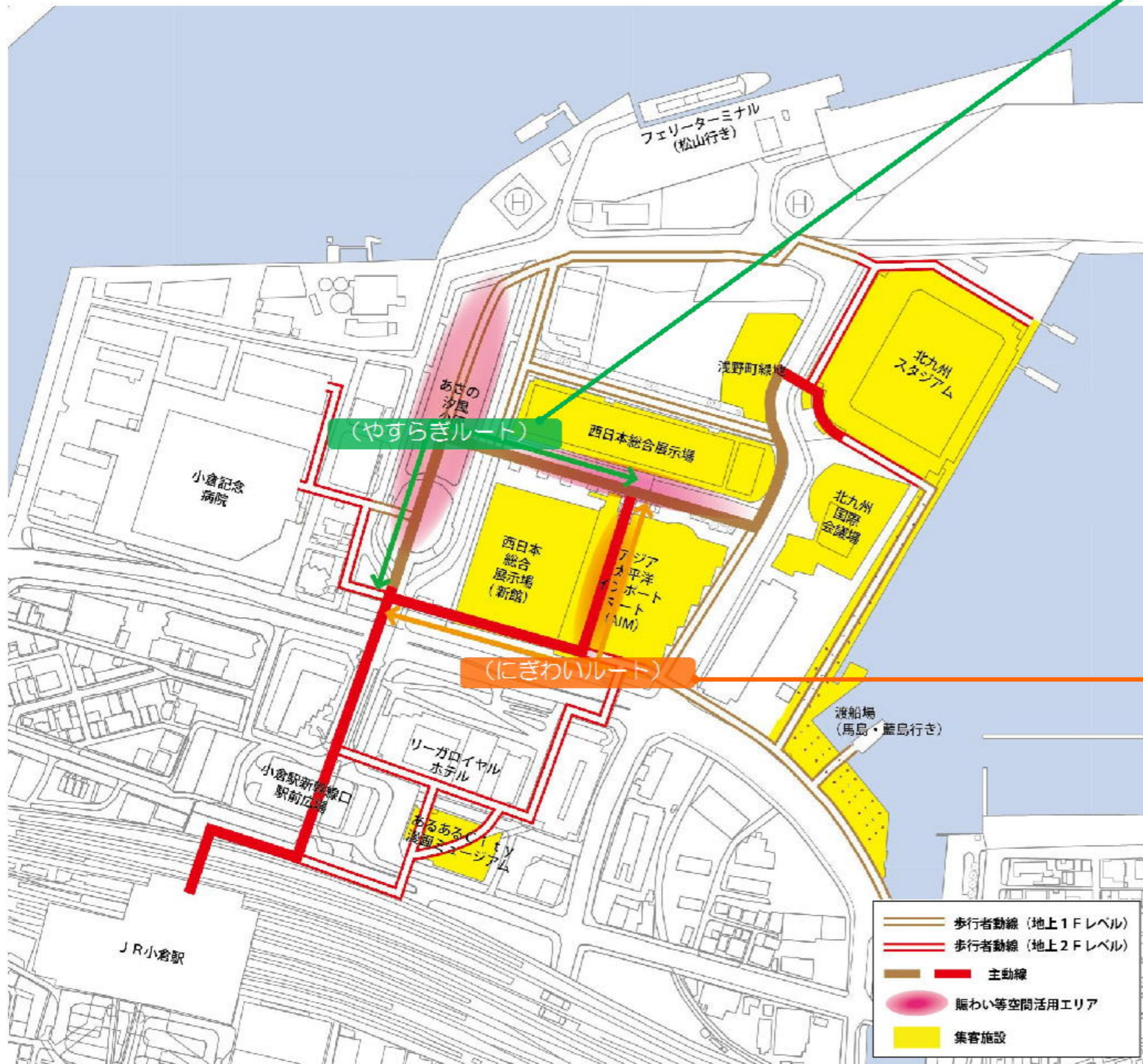
<JR 小倉駅構内>



<ペDESTロリアンデッキ上>



4) 歩行者の回遊性向上や主動線への誘導のための取組み



▲主動線におけるにぎわいづくりに向けた取組み

【やすらぎルート】
 <あさの汐風公園～西日本総合展示場 南側>

- ・スタジアムや西日本総合展示場でのイベント時の休憩空間
 (オープンカフェ、露店等の出店)
- ・マルシェやフリーマーケットの開催

<あさの汐風公園 活用イメージ>



<西日本総合展示場 南側 活用イメージ>



【にぎわいルート】
 <AIM ガレリア (屋内)>

- ・「ギラヴァンツ北九州」や対戦チームのPR
 (旗、垂れ幕・横断幕、ポスター等の掲示)
- ・地域の歴史・文化や地場産品に関するPR

<AIM 2階ガレリア 活用イメージ>

